

科医がない現状で当科の重要性をひしひしと感じております。少子高齢化の時代の波の中で、あすの日本を担っていく子供達が健康に育っていきけるように医療の面から貢献していきたいと思っ

ております。新しい世紀を迎え、医師・看護婦が一丸となって小児医療に邁進していく所存であります。今後とも皆様の御協力をお願い申し上げます。

産婦人科この1年

産婦人科医長 川村光弘

地域医療をめぐる問題

平成12年においても、当科の扱う地域における母子医療の状況には、大きな変化は見られなかった。上川、宗谷管内において産婦人科診療に従事する固定医は、わずか7名であり、うち3名が当院の職員である。他には市立稚内病院に2名、市立士別病院に2名が従事しているのみで、分娩という日常診療に対する診療体勢の希薄さは、全く改善されていない。現在旭川医大、旭川厚生病院を中心とした周産期3次センターの結成と、そこを中心とした医療システムの構築が検討されはじめているが、旭川市を除けば、この広大な道北医療圏における周産期医療システムの問題は、一次診療施設の不在と、そこから生じる地域住民の健康危機に尽きると言って良い。

広域医療行政を行うべき道や国が無策のままである以上、また各大学の産婦人科教室に、この問題に取り組む積極性が見られない以上、問題に直面している3施設が、中でも当科が中心となって、地域的な解決策を講じて行かねばならないものと考えている。

人 事

退職 伊藤秀行 00.03.31 旭川医科大学へ

赴任 佐々木禎仁 00.04.01 釧路労災病院より

分 娩

2000年の分娩総数は481件。前年より33件増加した。帝王切開は53件であり帝王切開率は11%と低い水準を維持した。地域別には名寄市在住者が256件で全体の53%を占め、一方周辺3町(下川、美深、風連)は100件であり、南宗谷4町(枝幸、浜頓別、中頓別、歌登)は85件であった。詳細は表1に示す。

手 術

2000年の手術は266件であり、前年に比べ20件増加した。内訳は表2に示す。

地域医療支援事業

中川町立診療所における出張診療は、本年も毎月第3水曜日午後より行った。来院患者数は平均12人であり、特に名寄までの通院が困難な高齢者や、中川以北(天塩町、豊富町)の居住者にとっては利便性の高い事業となっている。

講演活動

若者の望まない妊娠と性感染症を予防する目的で、上川北部から留萌にかけての地域の高校を中心に講演活動を活発に展開した。この活動は今後も継続する予定であり、さらに性教育や性に関するカウンセリングを扱う地域システムの構築にも関わって行きたいと考えている。

学会活動

本年度の発表演題は以下の2題であった。
第78会日本産婦人科学会北海道地方部会

妊娠一過性甲状腺機能亢進症の3症例

佐々木禎仁, 森 典久, 川村光弘

第30回北海道母性衛生学会

上川北部, 宗谷南部における低出生体重児の

検討 森 典久, 佐々木禎仁, 川村光弘

表1 平成12年地域別分娩件数

	1998年	1999年	2000年
名寄市	253	215	256
下川町	26	21	28
風連町	27	31	32
美深町	53	35	40
枝幸町	33	30	41
浜頓別町	13	15	13
歌登町	14	8	11
音威子府村	6	6	7
中川町	14	15	7
天塩町	3	3	1
幌延町	1	1	4
西興部村	3	3	4
士別市	5	6	9
幌加内町	2	2	1
その他	13	23	8

表2 平成12年産婦人科手術内容

子宮全摘術	38件	帝王切開術	52件
準広汎子宮全摘術	3件	子宮外妊娠手術	3件
腹式子宮全摘術	23件	流産手術	89件
腔式子宮全摘術	12件	その他	60件
子宮付属器手術	20件		
悪性腫瘍手術	4件		
良性腫瘍手術	16件		
子宮筋腫核出術	4件		